



喜田 紘平
水曜会
(50分)

感染者への人権配慮は

問 新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮は。

答 いわれなき誹謗、中傷を市民が受けることのないよう取り組みを行い、現在のところ深刻な人権侵害事例はないと認識している。引き続き、市民の皆さまには、感染者等への誹謗、中傷が決して



羽田 俊介
水曜会
(50分)

市営競馬場跡地の利活用は

問 「みらい創造ゾーン」の利活用の考え方は。

答 中・長期的に検討を行い、それまでの間は、イベントスペースや臨時駐車場など多目的広場として活用することとしている。併せて、降雨時に下流域の安全性を

起きないようお願いを申し上げる。

公共施設の今後の在り方は

問 ①公共施設のインターネット予約について、今後の考えは。②スマートロックシステムの導入を検討してはどうか。

答 ①順次、対象施設を拡大していく。②早期の導入に向けて検討する。特に公民館、交流館は事前に来館して鍵を借りることが利用の支障になっているとの意見があり、導入の実証実験と効果の検証を行う。

向上させるため、敷地内に約800立方メートルの雨水を貯留させる機能を持たせている。多目的広場としての使用については、1月に実施する市政モニターアンケートでご意見を伺う中で、具体を決めていく。

次なる100年の福山の発展を見据え、地域特性を生かした新たな価値創造に向けて、人づくりものづくり、コトづくりにチャレンジする創造、交流の場づくりをめざす。



木村 素子
水曜会
(50分)

子ども・子育て支援体制は

問 ①ネウボラ相談窓口「あのね」の商業施設での再開は。また、父親の育児参加を促進するための今後の取り組みは。②子ども家庭総合支援拠点の開設時期や支援の概要は。

答 ①あのねRiMでは父親とともに家族で来所する姿が多く見



石田 実
水曜会
(60分)

高齢者の移動手段の確保は

問 運転免許証の自主返納者など、高齢者の移動手段をどう確保するか。

答 近年、バス利用者の減少や移動手段を持たない高齢者の増加など、過疎化、高齢化に対応した移動手段の確保が課題である。これまで、公共交通を基本とし

られた。「あのね」を商業施設内に早期に再開し、同一施設内に「えほんの国」も再開することで相乗効果が図られるよう進めている。また、男性が「あのね」に参加しやすいよう新たに企業と連携するなど、男性の育児参加を促す取り組みの強化を図っていく。

④4月のスタートに向け準備している。関係機関と連携し、リスクの高い18歳までの子どもとその家庭、妊産婦への専門性の高い支援を行う。今後は支援拠点の専門性と「あのね」が一体となり、希望の子育てを実現していく。

つつも、バス路線に影響のない地域で運転ボランティアなど地域の支え合いによる運営が可能な場合にはおでかけ支援事業により、また、鉄道駅やバス停から遠い公共交通空白地域では乗り合いタクシーにより、それぞれ移動手段を確保してきた。

今後は、乗り合いタクシーと買い物や病院などのサービスを連携させるなど、さらに利便性の高い運営に努める。



※残骨灰に含まれる有価物(P.5)：火葬により発生する残骨灰の中に含まれる金、銀、プラチナなどのこと
※スマートロック：スマートフォンの操作や指定された暗証番号の入力などで扉の開閉ができる仕組み